



はじめに

- この取扱説明書はいつでも取り出してご確認できるよう、大切に保管してください。
- 本製品をお客様ご本人から第三者へ譲渡する場合は、本書も一緒にお渡しください。
- お客様ご本人または第三者が、本製品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた事故、その他の不具合によって受けられた損害について、弊社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改造自動車に適合するものではありません。改造自動車に装着する場合は法令で定められた改造申請などの届け出をして検査合格後にご使用ください。ただし、その自動車に損傷、損害がありましても、弊社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。
- 本製品及び、付属品に改造を加え、指定車両以外の自動車に取り付けて発生する不具合、自動車の損傷、損害につきまして弊社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告無く変更する場合があります。

◎シンボルマークの意味

本書では正しい取り扱いに関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しております。

警告 この表示の意味を守らないと死亡、又は重傷に至る可能性が想定される場合を示しています。

注意 この表示の意味を守らないと傷害、又は物的損害の発生が想定される場合を示しています。

警告! 本製品の取り付けには、重要な部品及び関連商品の脱着が伴います。必ず専門知識のある販売店もしくは整備工場で行ってください。

本製品を取り付ける際は、平坦で十分なスペースのある場所で、車両のエンジンを停止し必ず冷めてから車両を安定させて行ってください。

取り付けにあたり、取り付け車両メーカー発行のサービスマニュアルを用意し、車両部品の脱着方法及び注意事項を良く理解して作業を行ってください。

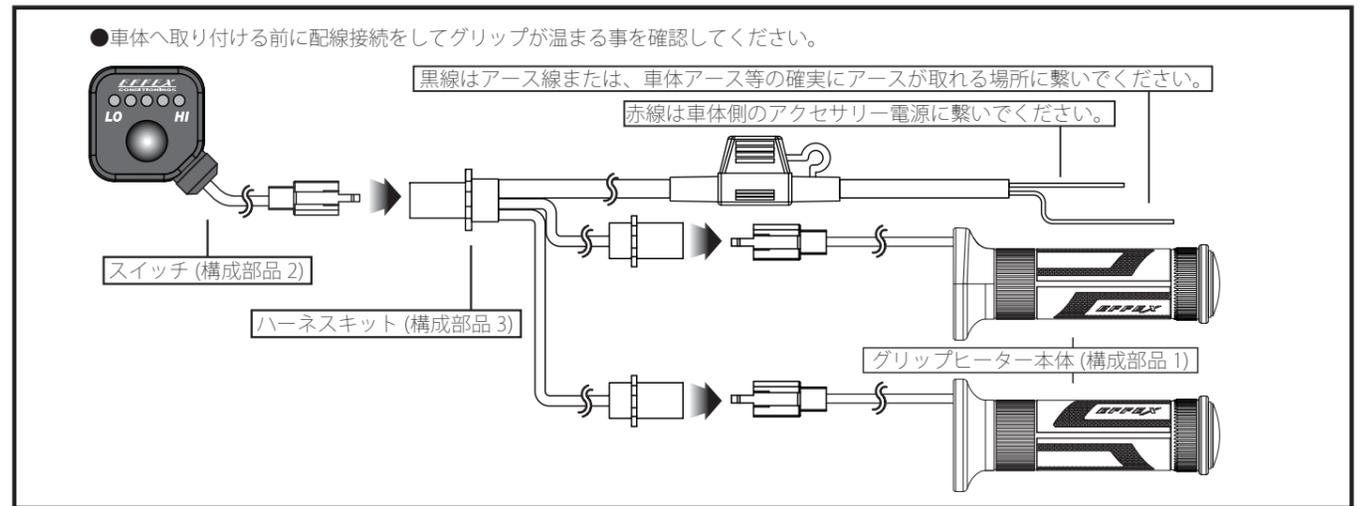
注意! 本製品に落下等の衝撃を与えないでください。商品の性能が発揮出来なくなる場合があります。

車両のエンジン、ラジエター等が熱い時は、完全に冷めてから作業を行ってください。熱いまま作業を行いますと火傷の原因となります。

1 構成部品

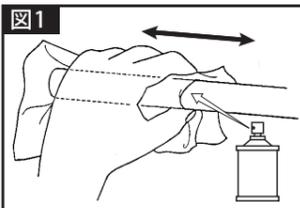
1 グリップヒーター本体 左右×1	2 スイッチ×1	3 ハーネスキット×1	4 U字ステー×1	5 マウント×1
6 M2×8ビス×2	7 M3×25×P0.5ボルト×1	8 M3ナット×1	9 パーエンドキャップ×2	10 接着剤×1
11 エクステンドスリーブ (115mm 左右共通)×2	12 エクステンドスリーブ (120mm 左用)×1	13 エクステンドスリーブ (120mm 右用)×1	14 エクステンドスリーブ (130mm 左用)×1	15 エクステンドスリーブ (130mm 右用)×1
16 収縮チューブ×1	17 絶縁キャップ (丸型端子用)×1	18 丸型端子×1	19 アルミシール×6	20 結束バンド×3
21 φ3.5オスギボシ×2	22 絶縁キャップ (オスギボシ用)×2	23 φ3.5メスギボシ×2	24 絶縁キャップ (メスギボシ用)×2	

2 配線接続図

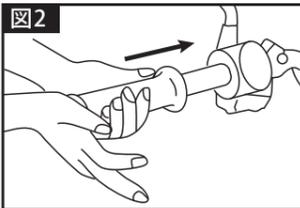


3 グリップヒーターの取り付け方法

取付手順

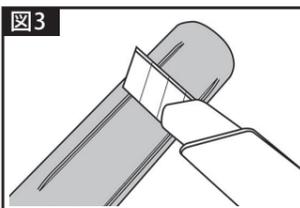


- 適切な工具を使用してハンドルバーを傷つけないように純正グリップを取り外します。
- ハンドルバーに接着剤が残っている場合はクリーナー等を使用して拭き取ってください。

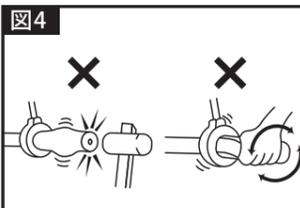


- グリップヒーター本体の内側に付属の接着剤を塗布し、ハンドルバーに真っすぐ押し込みます。

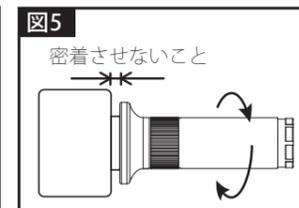
注意 この時、配線の向きを確認して内径が小さい方をハンドル左側に、大きい方をハンドル右側のスロットルスリーブに取り付けてください。



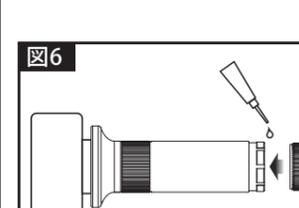
- スロットルスリーブ表面のリップが高く、装着が困難な場合は、リップを少しずつ削っていき、グリップ内径よりも低くならない高さまで調整してください。



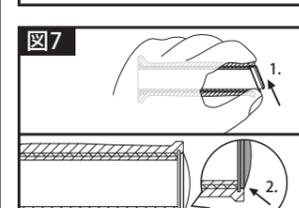
注意 工具を使って無理に叩き込んだり、ねじり込むなどするとグリップヒーター本体の配線を損傷させる可能性がありますのでおやめください。



警告! グリップヒーター本体をスロットルスリーブに取り付ける際はスロットル開閉時に配線が張りすぎないように注意してください。また、グリップとスロットルホルダーとの隙間を確保して取り付けてください。取り付け後はスロットルの開閉に問題が無いかよく確認してください。



- 「4 エクステンドスリーブの取り付けイメージ」と「5 エクステンドスリーブの選択」を参考に、適当な長さのエクステンドスリーブを取り付けてください。この時、エクステンドスリーブ内側のグリップとの接地箇所に付属の接着剤を塗布してください。



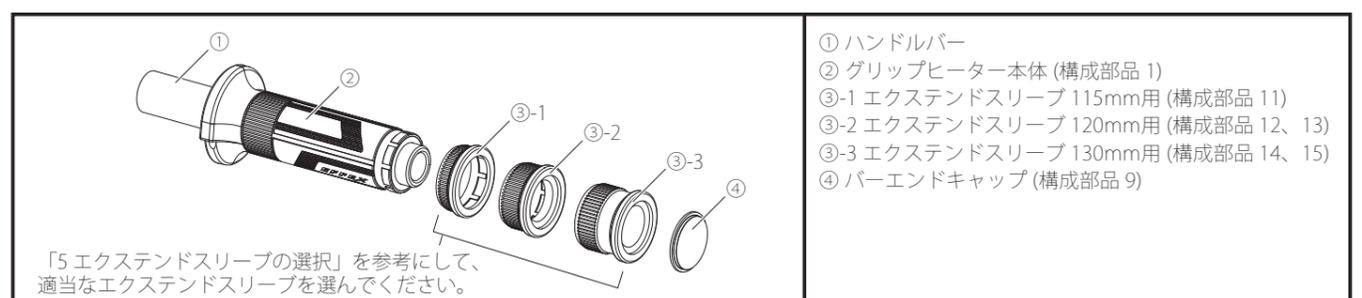
- 付属のパーエンドキャップをグリップヒーター本体に取り付ける場合は、キャップを上側の溝に合わせてから、下側の溝に合わせて取り付けてください。

警告! 接着剤の付けすぎは接着力を弱めますので、必要以上の塗布はおやめください。

接着剤が完全に硬化するまで放置してください。(気温25℃の場合、約24時間で完全硬化します。気温等により硬化時間は異なります。)

注意! 高圧洗浄機等の使用は故障の原因になりますのでご注意ください。

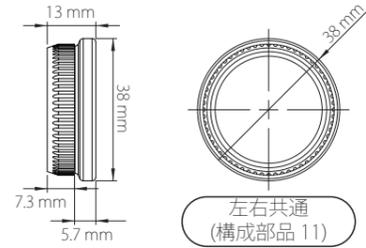
4 エクステンドスリーブの取り付けイメージ



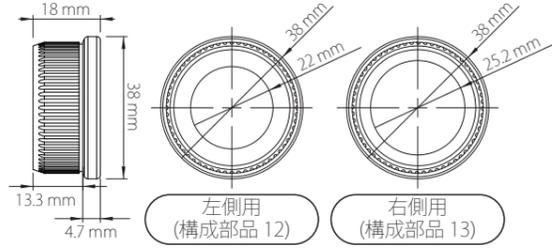
5 エクステンドスリーブの選択

取り外したグリップと同じ長さになるエクステンドスリーブを選択します。

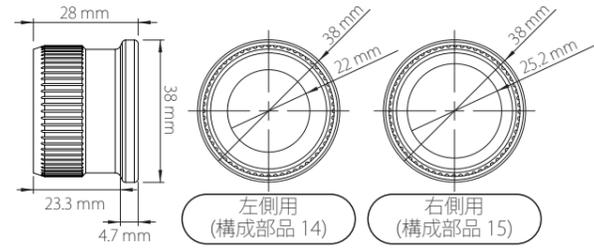
グリップ全長：115mm



グリップ全長：120mm



グリップ全長：130mm

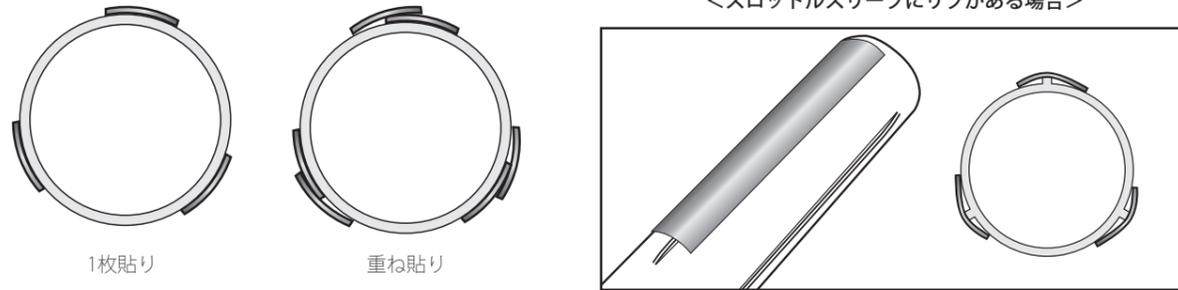


6 グリップヒーターが緩くて回ってしまう場合 ※該当しない場合は次に進んでください。

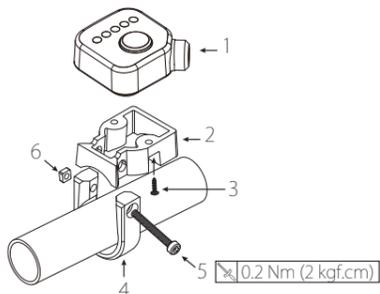
- アルミシール（構成部品 19）を下図の様に3箇所均等に貼り付けてグリップとの隙間を調節してください。
- ・スロットルスリーブにリップがある場合はリップの上にアルミシールを貼り付けてください。（外径が最も大きい箇所）
 - ・ハンドル左側のグリップが緩い場合も下図の様に調節を行ってください。
- 1枚貼っても緩い場合はアルミシールをもう一枚重ねて貼り付けてください。

警告! この時、接着剤（構成部品 10）の塗布を忘れずに行ってください。

<スロットルスリーブにリップがある場合>



7 スイッチの取り付け方法



1. スイッチ（構成部品 2）
2. マウント（構成部品 5）
3. M2ビス（構成部品 6）
4. U字ステー（構成部品 4）
5. M3ボルト（構成部品 7） $\times [0.2 \text{ Nm (2 kgf.cm)}$
6. M3ナット（構成部品 8）

注意! 定期的にし締めを行ってください。

8 操作方法と温度レベル表示について

●キーON: 全てのLEDランプが点滅し消灯します。全てのLEDランプが消灯している状態をスタンバイモードといいます。この時は加熱されません。

加熱モード（2パターンあり）

●スタンバイモードからボタンを1回押すと、通常加熱モードが始まります。

●温度レベルは5段階あり、ボタンを1回ずつ押すことでレベル調節が可能です。（左図はレベル1の状態です）
下図のようにレベルごとにLEDランプが左から右へと点灯していきます。また、レベル5の次はスタンバイモードに戻ります。

●例: レベル1からレベル3に調節する。（ボタンを2回押す）

メモリ機能

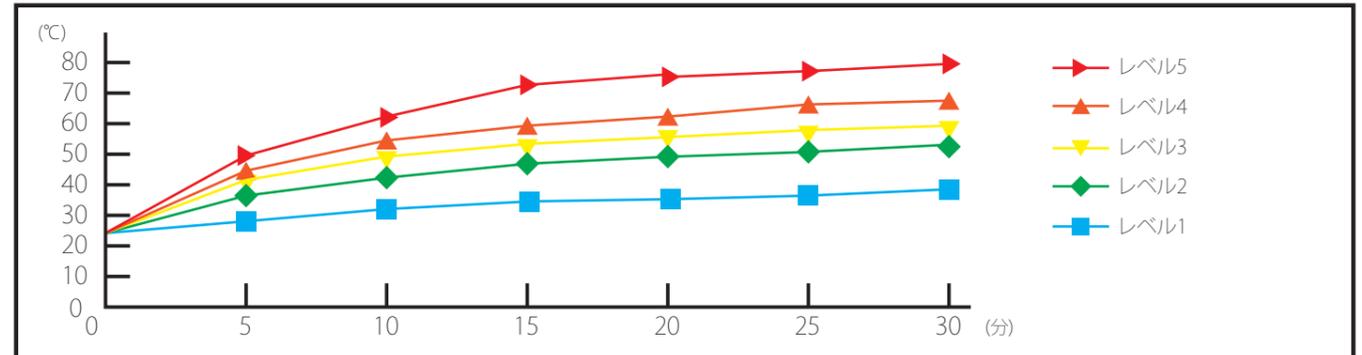
●キーOFF、もしくはボタンを3秒押し続けるとスタンバイモードに切り替わり温度レベルが記憶されます。ボタンを1回押して再び加熱モードにした際に、記憶したレベルで加熱が始まります。（左図はレベル3が記憶されている状態です）

急速加熱モード

●スタンバイモードからボタンを3秒押し続けると、急速加熱モードになります。

●この時、全てのLEDランプが点滅します。
●ボタンを1回押すと急速加熱モードが解除され、通常加熱モードになります。

9 加熱温度とその時間



注意! 摂氏25度以下の気温で、電圧13.5Vのときの測定値です。使用状況によって異なる場合がありますので、参考値としてご認識ください。

10 低電圧警告機能

●電圧が11.5V以下の状態が5秒以上続くと一番左のLEDランプが点滅し始め、自動で加熱を中止します。

●電圧が回復するとLEDが点滅から点灯に戻り、加熱を再開します。

11 トラブルシューティング

下記の症状が発生した場合はチェック項目を参考にして確認作業を行ってください。

症状	チェック項目	症状	チェック項目
LEDが点灯しない。	●バッテリーの電圧不足ではないか？（起動には12.5Vの電圧が必要です）	グリップが回ってしまう。	●付属のアルミシールを使用して、装着箇所のを調整してください。
グリップが加熱されない。	●ヒューズは切れてないか？ ●電源線やハーネス類が断線してないか？ ●+の線が正しく接続されているか？ ●スイッチの操作方法に誤りはないか？ 「8 操作方法と温度レベル表示について」の説明をご参照ください。	●グリップの取り付け方法に誤りはないか？ 「3 グリップヒーターの取り付け方法」の説明をご参照ください。	